The first stage is characterized by the dominance of *Cyclobalanopsis* and *Tsuga* pollen which may be derived from *C. glauca* and *T. sieboldii* respectively. A considerable amount of *Oryza* pollen is found throughout the horizons in this stage. In the second stage, *Tsuga* decreases suddenly, but *Cyclobalanopsis* is still dominant. *Myrica* gradually increases with decreasing depth in the lower half of this stage, then it decreases in the upper half. The fluctuation of *Oryza* pollen ratios is similar to that of *Myrica*. Abrupt increase of *Pinus* and Gleicheniaceae is found in the third zone. Judging from the pollen and spore sequences, mentioned above, the lowest materials may be deposited about 2,500–3,000 years before present, and regular cultivation of rice may be opened at that time. The marks of vegetational change by the human activities were found remarkably in the pollen sequences.

□東京都北区（編）：**北区の植物——自生植物フィールドガイド** 256 pp. 1988. 北区役所環境保全課. 北区は東京23区の北部に位置し，JR 京浜東北線を境にして山の手の台地と下町の低地に2分されている。以前は植物採集の適地も多かったが，今はほとんど開発されてしまって，緑のある場所は台地の縁の崖地や荒川沿いなどに限られている。1986年に区が調査して，維管束植物119科738種類，コケ植物26科61種を記録している。この本は普通に見られる種類を選んで，一般向きの野外用手引きとしたもので，カラー生態写真343点が美しくわかりやすい。各ページに2〜3ずつ似た種類を並べ，要領よい説明や線画で区別点を示してある。上記の調査結果が巻末に目録（学名入り）として記録されていて専門家にも参考になる。なお上記の課の電話は 03-908-1111 内線 3262。

（伊藤　洋）

□尼川大録・長田武正：**検索入門樹木** ① 207 pp. 1988. 保育社，大阪. ¥1500. 従来の図鑑や植物誌の検索表では同定の手段として不満足なため，10年ほど前から同定法にさまざまな工夫をこらした本が出されるようになった。著者の一人長田氏も早くからそれに取り組んでいる。本書は樹木の葉のみから同定をしようとするもので，切れ込みや分裂のない互生葉をもつ高木，低木を対象としている。それ以外のものは続巻②で扱う。葉一枚のカラー写真が主体で，ときに芽や葉身の拡大写真がついている。同定の特徴としては従来用いられてきた諸形質のほかに，葉をすかしてみると細脈がどの程度見えるかとか，death ring が出やすいかとかいう点も取り上げられている。熟練者は目をつぶって幹にさわるだけでも同定できるそうだから，こういう新しい観点を示すことは，植物の理解に役立つだろう。

（金井弘夫）